

第2回 公立保育所・認定こども園再編に伴う保護者説明会議事録

令和8年8月7日

事務局：本日第2回保育所再編の保護者説明会を行いたいと思います。

皆様、お忙しい中時間を割いてお集まりいただき、ありがとうございます。
私は司会の子育て支援課長、渡辺節美と言います。それぞれ自己紹介をいたします。

事務局の、教育委員会と教育課長の渡辺仁と申します。よろしくお願いいたします。

子育て支援課で保育所の編成担当をしております。後藤と申します。
忍野幼稚園の園長の天野育代です。よろしくお願いいたします。

忍草保育所長の渡辺とし子です。よろしくお願いいたします。

内野保育所長の天野みはりです。 よろしくよろしくお願いいたします。

それでは早速議事の方に入らせていただきます。

議事（1）第1回保護者説明会後アンケート集計結果について

事務局：当日の参加者は幼稚園の昼の参加者がおよそ30名、夜は48名全体で約80名の保護者にご参加いただきました。保育所等の再編に関するアンケート調査を実施し、47名の方にご回答いただきました。

【以後 アンケート集計結果を口頭で読み上げ説明させていただきました。

資料をWEBで公開しておりますのでご参照ください。議事録では割愛させていただきます。】

事務局：第1回目の保護者会では、ご質問に対する事務局での回答がまだ案が決定していない段階での回答であったため、検討していきたいなどの答えが多く、アンケートの回答にあったように具体的に決まっていないことが多く、反対の意見が多く出たのと、全体的な意見として、待機児童対策も重要だが、今現在通園している園児を大事にしてほしいという子供への環境の変化に対する不安の意見が多くだされました。アンケート結果をうけ、村長に経過報告を行いました。

村長からは保護者会で多く反対の意見が出たのであれば、段階的に行っていく方法に編成案の見直しも必要とのことでしたので、早速見直しについて関係者で話し合いを行いました。詳細は次の議題でお話したいと思います。説明は以上です。

議事（2）再編案の見直しについて（前回からの変更点等）

事務局：資料2（見直し前案）をご覧ください。前回ご提示した2園集約3歳未満児、以上児分離型となっており、3歳以上児を内野保育所、3歳未満児を忍草保育所に集約する案で、前回の保護者会でも様々なご指摘を受けた案がこちらとなります。次のページをご覧ください。こちらが事前にメールにて配信させていただいたものと同じ内容になっております。（資料3見直し後案）

こちらは保護者説明会後におけるアンケートでのご意見やご要望、また7月27日にも、保護者の皆様、328名より忍野村保育所、認定こども園の再編成の慎重な審議を求める要望書にて、ご要望のあった内

容等を踏まえ、再編案について、所長、園長も含め関係者で協議し、再度見直しを行いました案となりますのでご説明いたします。

まずこちらは3園存続経過措置型となります。下の四角の枠内の改正点をご覧ください。

改正点は忍野幼稚園では令和9年度は2歳児（1号・3号）新規申込を受け付けない。令和10年度からは年少児の新規申込を受け付けない。内野保育所を保育所型認定こども園にし、同時に1号も受付可能とする。

現状維持の部分は、【忍草保育所はそのまま継続する。】【基本きょうだいは別々にならない】【幼稚園の制服はそのままにする。】今後の動向としては、幼稚園は令和11年度をもって休園又は閉園する。令和9年度においては合計数52名、令和10年度においては合計数34名の見込みで、11年度は年長のみで13人となる見込みです。

次のページをご覧ください再度重なる部分もございますが、読み上げさせていただきます。この編成案については協議中であり決定事項ではありません。

【以後 口頭で資料を読み上げさせていただきました。議事録では割愛させていただきます。資料の概要説明をご参照ください。】

この案につきましては、7月27日に行った第二回子ども子育て会議においても、委員の皆様にご説明し、ご協議いただいておりますが、審議中であり決定したものではございません。

会議の中では委員さん方から見直し案について、現行より保育士が1名不足となっており、保育士の採用について村がどう検討していくかが課題とのご意見が出ました。早速人事担当課である総務課と連携を図り、採用について募集をかけていくことは既に決定しております。いずれにいたしましても、現状においてもまた編成後においても、保護者の皆様が安心してご利用いただけるよう、サービスの向上を目指していきたいと考えております。

議事（3）今後のスケジュールについて

事務局：スケジュールについてご説明いたします。

資料3を参照

8月18日（火） 第3回子ども子育て会議開催

8月6日の保護者説明会でのご意見やご要望、アンケート結果を踏まえ、再度委員の皆様にご協議いただく予定

9月7日（月） 第4回子ども子育て会議開催

10月の保育所等の利用申請を見据え、今回の編成案について方向性を決定し、編成を実施した方が良いかなどを含め村長あてに答申していく

10 月には例年通り保育所等の入所申し込みがあり、来年 1 月には入所について決定し、承諾書を発送していく流れとなりますが、今後についても必要に応じ、また保護者の皆様からのご要望に応じ、保護者会については随時開催したいと考えております。

議事（4） 質疑応答

事務局より発言の前にお子様の所属とお名前を名乗っていただくようお願いさせていただきました。

以後事務局側でご意見の要約を記載させていただきます。内容の変更をご希望の際は子育て支援課までお問合せください。

保護者：忍野幼稚園の未満児クラスの S 様。

現在忍野幼稚園未満児クラスの子供達がそのまま園に残り年長児になった場合、下級生がいない環境で過ごすことになり、年下の子供との関わりや世話をする経験、お兄さん、お姉さんとしての成長の機会を失ってしまうと考え今回の見直し案に懸念を示されました。また、異年齢交流を通じて学べることや行事での関わりもなくなってしまうことを問題視している。

さらに、年長児が 13 人程度になる見込みだが、今回の発表をうけて入園を見送る家庭が出ればさらに人数が減る可能性があり、そのような状況で教員数も限られる中、運動会などの行事運営や日常の園運営給食提供などを従来どおり維持できるのか疑問を感じている。

そのため、現在の未満児クラスが年長になるまでまつのではなく、その学年に上がるタイミングで統合した方が他学年との交流機会を確保でき、人数面の課題も緩和できるのではないかと考えを示し、その案を採用出来ない理由があれば説明を求め、検討を要望

S様は幼稚園を存続させること自体が最優先ではなく、子どもたちの学びや成長環境を重視したいため、現在の見直し案では将来的な合理化や人員配置の効率化、経費削減などのしわ寄せがこの学年の子どもたちに集中し、犠牲を強いられているように感じるため、再考を求める。

事務局： 同じお立場で同じ意見、または全く反対の意見の方がいらっしゃる
か問い合わせあり ⇒ 反応はなし

内野保育所については、認定こども園へ移行し、一部のお子さんが園を移れるような仕組みを設けたいと考えている。

保護者の皆様の中にはSさんがおっしゃるように『残り1年であれば転園した方がよい』と考える方もいれば『忍野幼稚園で最後まで卒園したい』と希望される方もいらっしゃいます。

そのため、それぞれのご意向を尊重し、選択できる環境を整えたいと考えております。

現在の再編案では、対象となるお子さんは13名程度を想定していますが、実際には増減する可能性があります。いずれにしても保護者の皆様やお子さんの希望に応じて選択できるような形を目指しております。

以後 保育施設を代表して忍草保育所長が行事等について説明

忍保所長：行事については、できる限りこれまでと同じ内容で実施していきたいと考えております。ただし、園児数の変化や、下の子どもたちがいないといった状況により、行事の進め方や内容の一部が変わる可能性はあると考えております。

一方で、子どもたちが経験する行事や教育活動の目的・内容については、これまでと変わらないよう努めてまいります。

また、人数が少ないことによる影響をできるだけ補うため、現在も実施している交流活動を継続していきたいと考えております。エンジェル・ウブントウ・内野保育所・忍草保育所・忍野幼稚園との交流がありますので、そうした機会を活用しながら、子どもたちがさまざまな友達と関わり、多様な経験ができるよう支援してまいります。今後も子どもたちが安心して成長できる環境を整えられるよう、できる限りのサポートをしてまいります。

保護者：内野保育所 U様

見直し後の案だと 内野保育所が認定こども園へ移行するとのことだが、現在内野保育所に通っている子どもたちは、これまでの保育から教育中心の環境へかわってしまうのか？

また、現在忍野幼稚園に通っている児童が幼稚園に在籍できなくなった場合、内野保育所への受け入れも検討するとのことでした。

その際、例えば年長児が1人だけ内野保育所へ移るようなケースも考えられると思うが、そうになると、その子供のために保育士を配置する必要が生じるなど、非常にいびつな体制になるのではないかと感じ

る。保育士不足が課題となっている中で、そのような対応を行うことでさらに保育士の確保が難しくなるのではないかと思う。
こうした点をについて、どのように考えているのか？

事務局： 現在も忍野幼稚園では、1号認定のお子さんと2号認定のお子さんが一緒に活動しています。内野保育所が認定こども園へ移行した後も、1号認定のお子さんだけを分けて別の活動を行うことは考えておらず、現在の保育所と同様に、子どもたちが一緒に活動する形を予定しています。

具体的な活動について保育所長より説明

忍保所長：幼稚園と保育所では、基本的な教育内容や保育内容に大きな違いはありません。同じ村の子どもたちを対象に、それぞれの成長や発達に配慮しながら、教育・保育を行っています。

園ごとに行事や特色の違いはありますが、子どもを育て、学びを支えるという根本的な考え方や内容は共通しています。

子どもたちは日々の遊びや生活を通して学び、自主性を育んでいくことが基本です。そのため『幼稚園は勉強する場所』『保育所は元気に過ごす場所』というイメージは正確ではありません。

実際には、幼稚園も保育所も、子どもたちが生活や遊びの中で学び、成長していくことを大切にしています。行事や一部の活動内容に違いはあっても、教育・保育の基本的な考え方や子どもへの関わり方は同じだと考えていただければと思います。

保護者： 内野保育所 U 様

来年度 2 歳児（1 号・3 号）で新規に幼稚園希望の場合は内野保育所での受け入れとなり、忍野幼稚園在園時のきょうだいで 2 歳児（1 号・3 号）のきょうだいが入所予定の場合には、内野保育所へ移動を検討しなければならないとすると、きょうだいで別の園に通う可能性があり半分脅しのように感じている。

保護者：忍野幼稚園 年中・未就園児 2 人 N 様

質問・要望（3 点）

①内野保育所での 1 号の受け入り開始時期について

- ・来年度からはじまるのか？
- ・それによって、下の子を通わせる際に転園が必要になるのか、それとも最初から、きょうだい 2 人を同じ園に通わせる前提で申し込めるのかが変わってきますので確認したい。

②将来的な集約の方針について

- ・以前の再編案では、将来的に 1 園へ集約することが最終的なゴールとしてしめされていた
- ・一方、今回の資料ではその記載がなく 2 園体制を維持するように見受けられる
- ・今後、さらに集約を進める構想があるのか、それとも 2 園体制を維持する方針なのかうかがいたい。

③卒園までの見通しと購入品への配慮について（要望）

- ・子どもは忍野幼稚園の最後の学年に在籍することになるが、卒園まで同じ園に通い続けられるとは限らないと感じている

- ・将来的に内野保育所へ移動を検討する可能性もあることから、制服やバッグなどの購入品については、保護者の負担を考慮しできるだけ必要最低限にしていきたい。
- 以上を検討していただきたい。

事務局：回答

① 内野保育所での1号受け入れについて

内野保育所は認定こども園以降に伴い、来年度から1号認定児の受け入れを開始する予定。新たに年中・年長から1号認定で入園するケースは多くはないと思われるが、例えば幼稚園に通う子どもの下のきょうだいが入野保育所へ入園するタイミングなどで、家族の都合に合わせて内野保育所へ転園することは可能となる

② 将来的な1園集約の方針について

今回の資料に1園集約についての記載はありませんが、これは将来的な構想の段階であり、具体的な計画がきまっていないため明記しなかった。

ただし、将来的に1園へ集約するという方向性自体がなくなったわけではありません。

③ 制服などの購入品に関する要望について

保育所長より回答

- ・教材については、現在使用しているものをそのまま継続して使うことができる。
- ・制服などについては、移行措置期間中は保護者の希望を踏まえながら対応を検討したい
- ・幼稚園では卒園児が残してくれた制服等をリユース品として活用

する仕組みがあるため、今後もその活用を呼びかけていきたい。

- ・保護者の負担ができるだけ大きくならないような方法を検討する

保護者：忍野幼稚園 Hさん

本日の会議の議事録を公開してほしい。

- ・今日参加できなかった保護者もいるため、今後の判断材料として必要な情報を共有してほしい。
- ・アンケート集計前に公開するべき

今後のスケジュールを明確にしてほしい。

- ・現在示されているスケジュールは再編案がいつ確定するのか分かりにくい
- ・検討事項について『今後検討する』という説明が多いため、いつまでに方針を決定するのか、また入園申込の開始までに内容が確定するのか明確にしてほしい。

事務局：・本日の議事録については公開する予定でいる。

- ・ただし、内容を取りまとめるのに時間がかかるため、8月13日を期限とするアンケート実施前の公開は難しい見込みである
- ・アンケート実施後になるが、できるだけ早く整理した形で公開したい。

上記の回答に対し以下 Hさんより 以下指摘をいただきました。

保護者：・今日の説明会では質疑応答を通じて新たな情報が多く出ており、参加できなかった保護者はその情報を知らないままアンケートに回答することになる。

- ・保護者全員に同じ情報が共有されない状態でアンケートを実施するのは適切ではないのではないか。
- ・議事録の公開が間に合わないのであれば、アンケートの締切延長を検討すべきではないか

事務局：・個別説明や追加説明の機会は随時設けており、ホームページにも掲載している。

- ・しかし8月18日の子ども子育て会議までにアンケート結果を集計する必要があるため、締め切り延長は難しい。
- ・議事録については、できる限り早く公開できるよう努める

と回答し、保護者Hさんより下記ご要望いただきました。

保護者：保護者の意見を広く聞く姿勢を示しながら、実際には十分な情報共有が行われないまま手続きが進んでいるように感じる。議事録だけ早く公開してほしい。

事務局：できる限り早い公開に努める

保護者：忍野幼稚園 年長 G様

- ・全体的に進め方が非常に急に感じられる
- ・保護者の意見を十分に聞くのであれば、もっと時間をかけて検討するべきではないか
- ・自身が経験した学校統廃合では、2年ほどかけて説明会や議論を重ね入学時点で将来の統合が分かった状態で入学できるよう配慮された。
- ・今回は在園児が途中で環境が変わる可能性があり、子どもや保護者の不安が大きい。
- ・統合や再編をすすめるのであれば、事前交流や丁寧な準備を行い、子どもたちへの心理的な配慮を十分にしてほしい。

事務局：・急なスケジュールとなっていることに関しては申し訳なく思っている。

- ・しかし、現状のまま何も対策を講じなければ、来年度には待機児童が発生する可能性が高い
- ・保育士不足も深刻な状況であり、現在募集をすすめているものの採用状況によっては待機児童が生じる可能性がある。
- ・そのため、できるだけ早く見直し案を進め、希望する家庭が保育サービスを利用できる体制を整えたいと考えている。
- ・今回の見直し案は、そうした課題への対応策として提案しているものであり、理解をお願いしたい。

保護者：内野保育所 U 様

質問（3点）

①なぜ幼稚園と保育所を一緒にするのか

- ・幼稚園や保育園に特色があるからそれぞれの施設を選んでいると思うが、再編することによって、子どもが望んでいない環境に置かれるということに関してどう考えているのか。
- ・保育士と保育教諭の免許の種類も違うのに施設種別が違う2園をなぜ合わせるのか

②内野保育所と忍草保育所が老朽化した時の子ども達の転園について。

- ・他の施設も老朽化していくと思うが今後も同じように子ども達を転園させるのか

③職員の新規採用について

- ・新規の職員が採用できないのは採用方法が悪いのではないのか。

事務局：①現在、忍野幼稚園は認定こども園になっており、幼稚園部門と保育所部門が一緒になっている。それと同じ形で、内野保育所も認定こども園にし、保育が必要な子も必要ない子も受け入れができる体制を整える。

- ② 最終的に1園に集約する方向で、0歳から年長まで同じところで、一緒に学べる場所を最終的に造ればいいという構想がある。

- ③ 正規職員は公務員であり、保育士も一般行政職も同じ給与体系のため、保育士のみ待遇を上げることができない、同様に手当を上げることもしない。

追加の質問

保護者は園の特色を理由に入園を希望している。

一方で、待機児童を発生させないために今回の案が作成されたとの説明があったが、この案では保護者が希望する特色を有した保育園へ入園出来なくなるということになるが、それについてどう考えているのか

事務局：行事としての、幼稚園だけでやっている行事はあるが、日々の園の活動は大きく変わらない。幼稚園も保育園も遊ぶことがメインでその中で子供達が学んでいる。保育所と幼稚園の同じような活動として、体操教室など内容は別だが行っている。

施設関係者：幼稚園も保育園も遊びを通して学ぶ面もある。幼稚園の方はバイオリン教室とかピアノとか、特色のある活動をしている。

追加質問

その場合なぜ幼稚園教諭の資格と保育士の資格は違うのか。保育士の勉強だけで全部行けないのか。

施設関係者：厚生労働省は（現在は子ども家庭庁）保育部門、幼稚園教諭は文部科学省ということで管轄が分かれているというところで免許の違いがある。

追加質問

保育園の資格と幼稚園の資格、両方とも持っている人ばかりなのか。

施設関係者：異動もあるため職員は両方の免許を取得している。

追加質問

保護者： 教育内容や考え方に大きな違いがあるから、資格が分かれているのではないか

施設関係者：幼稚園は教育を目的とした施設であり、保育所は教育に加えて『養護』の役割も担う施設であることから制度上違いはあるものの実際には子どもへの教育・保育の内容や先生の関わり方に大きな違いはない。

保護者:忍草保育所 未満児 K 様

忍草保育所の保護者の方には今回出された資料の中の一部だけが回っており、アンケートの部分、前回の振り返りの部分、今後のスケジュールの部分がのっていなかった。スケジュール的にどうしてもアンケート締切日を変えられないというのであれば、欠席の方に配慮してほしい。アンケートも今回来てない方のために、配慮してほしい。

事務局：急いで情報開示するように、努力する。

保護者：エンジェル A 様

質問1つ 提案1つ 感想1つ

村全体の受け入れ態勢について（質問）

提案だと保育士の採用がなければ待機児童が出るのは間違いないと伺ったが、私立も含めた村全体の受け入れは見通せるところとして、どういう状況なのか。今年度は私立に受け入れてもらって、調整したというご説明が前回あったので、次もそれが成立するのかを確認したい。

今後1園統合時のスケジュール感について（提案）

1園に統合するスケジュールを計画的に立てていくべきだと思う。不満が出る一番の原因はスケジュールがタイトであるというところだと考えている。ここの反省を活かしていろんな人の意見を聞いて理解を得られるような進め方をしてほしい。

再編後の受け入れ態勢について（感想）

行政として福祉の受け入れに余裕があり、受け入れ体制を持っているというのは、住民として安心感はあるので、その努力をしようとしていただく姿勢は前回の説明会で待機児童ゼロを目指す姿勢を見せていただいたところは、ありがたいと思う。

事務局：村全体のキャパとしては民間園の方も公立と同じように、保育士不足な状況がある。公立で入れなかった子を民間にお願いしたが、来年度は追加で受け入れられない。そのため公立で受け入れる体制を整える必要がある。

保護者：内野保育所U様（質問）

村長の強い意向があり、教育の充実を図りたいという質問があったが、今回入っていないが、それでも保育所と幼稚園を一緒にしようとしているのはなぜか。

事務局：保育所を1園にすることで、園を移動しなければいけなくなるお子さんが出てくる。在園児を今の保育所で卒園させることに重点を置いて、今回の再編を行った。とはいえ、幼稚園を縮小をして新規を取らないことになる、1号（幼稚園部門の保育の必要性がない方）が通うところがなくなってしまう。それを防ぐために内野保育所で1号を受け入れられるように、枠を作ると。最初は3歳以上児施設、3歳未満児に分けて、3歳以上児施設の教育に力を入れるという話をしたが、アンケートを取った結果、そのニーズはあまりないと判断し、教育に力を入れるよりは在園児の移動がないように重視した。

追加質問

保護者：移動を検討していただく家庭が出てくると思うが、その人たちはやむなしということか。

事務局：そこは自由な判断なので。例えば幼稚園に今通ってるお子さんの、下のお子さん、2歳児枠をなくすことでそこに入れなくなるので、その子は内野保育所の方になる。そういった時に承知で2園に通うのはいいが、2園に通うのが大変であれば、内野保育園に転園してくださいという形なので、そこは選んでいただくことになる。

追加質問

保護者：脅しに近いように感じるが、今回のアンケートで非常に反対が多いと思うが、今回のアンケートでも反対が多かった場合はどうするのか。

事務局：前回の再編案と今回の見直し案のどちらがより賛同できましたというところで書いてほしい。もし両方とも賛同できない場合はどちらかというところの案がいいという方に回答し、自由記載の方に書いていただければと思う。

追加意見

保護者：そのことについて書かれていない。今聞いた人は分かるが、他の人は分からない。この2つしか選ぶことなくて。自由記載欄でのその理由を聞かせください、あくまでどちらか賛同した上での理由ではないのか。ここの2択でしか迫られていないように感じる。

事務局：明日直して再度掲載するようにいたします。

追加質問

保護者：反対が多かったらどうするつもりか。

事務局：その時に考える。

保護者：忍草保育所 0 様

質問

内野保育所が認定 こども園で1号を受け入れる場合に保育士が足りません場合に1号よりも2号を優先してもらえるのか。

事務局：内野保育所の方の2歳児の1号の枠について、現在、忍野幼稚園で満3歳児（2歳児）で受け入れている枠について、幼稚園の制度として満3歳で受け入れる枠であるため、忍野幼稚園で受け入れをしないことを考えて内野保育所の方で受け入れられるように残している状況。今年10月に入所申し込みがあった時に、新規のお子さんについては、点数付けをして、保育の必要性の高い順から入所という点については今のところは変わりはないので、別枠であるため優先順位は設けない。

保護者：忍野幼稚園 S 様

質問2点

・①未満児は全員受け入れなければダメなのか

未満児の保育のニーズが高まっているという話だが、0歳児のニーズは高まっていると言っても、ダメならしょうがないと思っている方も、少なからずいると思う。その中で0歳児1歳児の受入れをその希望を全部受けることは、人数がそもそも足りてない中でやるのは理想として高すぎると思う。本当に実現できる目標なのか。

・②老朽化問題と受け入れ問題分けては考えられないのか

忍野幼稚園が老朽化しているというのも、今回の問題であるが、一緒にして一発で解決しようとしているから、こじれている気がする。別々の問題として分けて考えることができないか。

事務局：①国の政策で、働く人を応援しなさいということで、なるべく保育が必要なお子さんは預かれるような体制を取りなさいということで、そこを目指したいというのが行政側の考え

②修繕するにしても建て替えるにしても、3園持っていて、同じようにそれぞれ修繕もかかってくるので集約していきたいというのが、理想だが、今いる在園児も大事にして、段階的に行うということで行う。

②について追加質問

保護者：国が言っているから、今通っている子に多少負担を強いてもという考え方か。

事務局：今いる方達に負担を強いるっていうつもりはないが公立なので、なるべく希望するお子さんたちに公平に入れるような体制を取っていききたいと、できる限り努力はしていきたいという考え方。もし最終的に保育士が足りなければ、実際問題として待機児童が出てしまうというところは仕方ないが、待機児童が出る前に打てる対策はしておきたい。

保護者：ウブントゥ忍野の森、忍野幼稚園 H 様

質問 2 点

・①無償化後の申請者数は増加しているのか

未満児の需要が高まっていることによって、保育士が不足している問題に関して保護者のアンケート結果について、ゼロ歳児を無償化にしていることをやめたらいいというアンケートの回答があった。本当に必要で預けないといけない人もいる中で、本当は家庭で見ることができるけど、無償化だから入れたいという人もいるはず。その状況について教えてほしい。

・②自営業等で就労証明を出して本当は働いていない人がいるといううわさがあるが本当に入りたい人の枠がなくなってしまうのではないか

例えば企業に勤務している場合の就労証明を出す方と自営業で就労証明を出して、預けてる方もいて、本当に必要で働いている自営業の方もいると思うが、必要ではないが 0 歳で預けれるなら就労証明を出して預けたいと思う家庭もあると思う。それで希望する方が増えすぎることによって、本当に預けないといけない人が預けられなくなっている状況についてはどうか。

事務局：①について 6 年度から保育料の無償化を始めて 7 年度以降、申込者数が急増しております。自営業の方も含めて増えているのでゼロ歳児で生まれ月が遅い方に対しては育休延長、1 ヶ月か 2 ヶ月と延長していただいて、次年度に入所というようなお願いはしている。

事務局：②自営業の方についてはそういう保育の必要性がない方も噂で聞いているため、厳格化を進めている。猶予を持たないと皆様ご準備ができないと思うので、1 年間ほど余裕を持って進めていきたい。

追加質問

保護者：村長の意向で子供たちに幼児教育を充実させたいと園を統合した後、幼稚園の教育を引き継いでいくという話があり、アンケートの結果、ニーズがあまりなかったということを聞いている。その場合、今未満児で忍野幼稚園に通っている子達は、卒園時まで幼稚園の教育を受けられるという話だが、上のきょうだい幼稚園に通っていて、下に生まれたきょうだいに同じような教育を受けさせたいと思った場合に、そういう選択肢はなくなるのか。

事務局：活動自体は今現在幼稚園も、保育所もほとんど変わらず行える。幼稚園がなくなれば、バイオリン等のプラスαはできなくなる。

意見

保護者：私の個人の意見で幼稚園保育園を選ぶときに、子どもの成長を支えて、生活をサポートしてくれることは、大前提になっているので、園を選ぶ時にそこは考えずそれ以外の、特色を見て選ばれていると思う。そこの特色がなくなることを、幼稚園の保護者の方は懸念されているのではないか。

事務局：今現在、英語教育を幼稚園で始めているが、ALTを常駐させている。今年度中に保育所も回る予定になっているので、差がないようにする予定。バイオリンも検討中で今と同じようにはできないかもしれないが、継続できるようには考えている。

追加質問

保護者

- ・バイオリンとか英語とか求めてないという回答もあり、そちらの方と今度は意見が合わなくなる。幼稚園と保育園を混ぜないと、この案はうまくいかないのかを検討してほしい。
- ・今保育園に通っている園児全員が卒園したら、その下の学年から全保育園児を内野で受け入れて、その下の学年から全幼稚園児が幼稚園ベースで卒園を考えるのではなく、保育園ベースで考えるという方法もあるのではないかが、

保育士：現在の忍草、内野保育所の以上児には枠がたくさんある。しかし、未満児はいっぱいで、新たに入所ができない。今の忍草保育所の施設にはそれだけの定員数と一人当たりの必要な平米数を満たさないで、国の規定として入ることができない。現に忍草の子たちが内野に移動するとなると以上児は入所可能ですが、未満児は待機児童になる。しかし幼稚園は以上児なので幼稚園の子達は丸々移動できるが、忍草には2歳1歳0歳の未満児がいるので、未満児の移動はできない

追加のお願い。

保護者：今回来られなかった人は資料だけ見ても理解できない人が多いはず。説明会に来れない方を配慮して、意見を反映できるような形を取ってほしい。

ファナック人事サービス部ご担当者様

お願い

今後のスケジュールについて8月の中旬に子ども子育て会議があります。その後保護者の皆さんに対しての情報公開の予定を教えてください。

事務局：子ども子育て会議については第4回まで、予定している。第4回が終わった段階で結果を公表する予定。

追加のお願い

ファナックご担当者様：それだと保護者は納得しないと思う。同じような会を開いてほしい。

事務局：第3回子ども子育て会議が、終了した後に、保護者説明会として情報提供という形で、できる限り皆さんにシェアする。

事務局：長時間どうもありがとうございました。以上で、第2回の保護者説明会を終了いたします。お疲れ様でした。

確認作業は行いましたが、取り急ぎ作成のため誤字脱字ご容赦ください。